

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 5月 1日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市信楽町柞原886番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
紫香楽教材粘土株式会社
代表取締役 青木雅幸

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更)した]ので、提出します。
[事業者行動報告書を作成]

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	紫香楽教材粘土株式会社 代表取締役 青木雅幸
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市信楽町柞原886番地

1 事業者の概要

事業所の名称	紫香楽教材粘土株式会社					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市信楽町柞原886番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	1	4	8	※ 産業分類・細分類名称を記載 陶磁器用はい土製造業
事業の概要	学校教育資材の製造販売、超軽量手芸用粘土・基礎学習用教材粘土・焼成用陶芸粘土					
従業員の数	8	人	操業時間	7	時間/日	
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワットル以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	65 台
	コンプレッサ	3 台	空気調和設備	3 台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2023	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

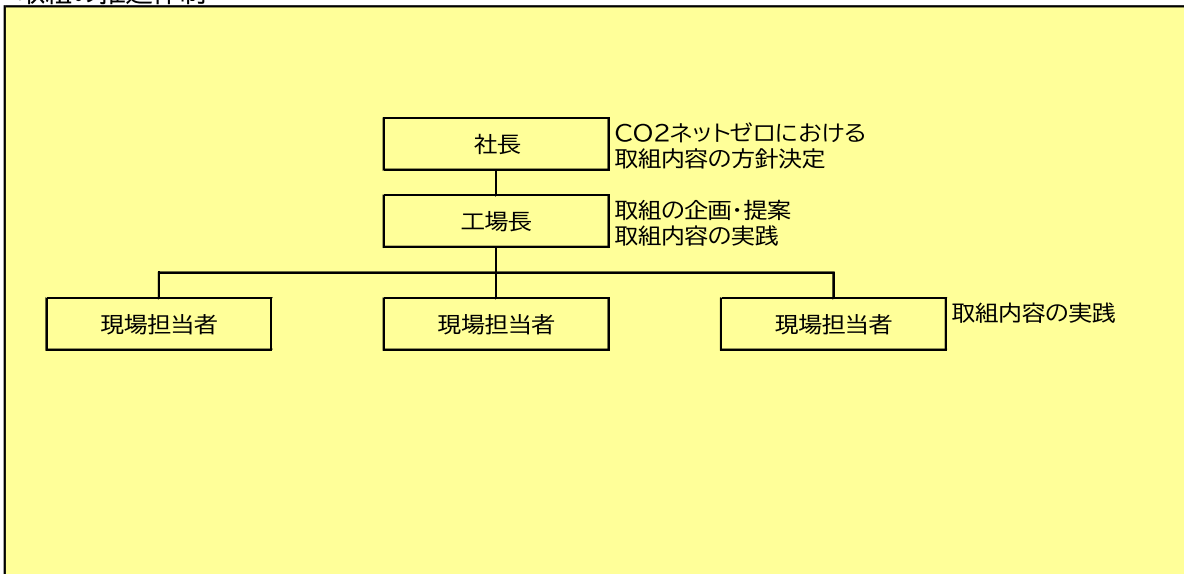
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境負荷の低減とCO₂ネットゼロ社会づくりを下記のテーマで進めていきます。

- ・省エネルギー対策の推進と環境負荷の低減に取り組みます。
- ・事業所において省エネ工夫をしていきます。
- ・事業所のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。
- ・廃棄物を分別しリサイクルを推進し、廃棄物の削減に取り組みます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・一部の照明器具のLED化
- ・節電、節水の啓発活動
- ・設備の点検を定期的実施し、水漏れやエア漏れの早期発見、修理対応

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	コンプレッサの更新	2023年度	実施済
2	設備導入	照明器具のLED化更新	2023年度	実施済
3	設備導入	フォークリフトの電氣化	2025年度	計画中
4	設備導入	太陽光発電の導入	2025年度	計画中
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
2022年度を基準年として以下の数値目標の達成を目指します。 原単位 CO ₂ 排出量/削減量1%目標 原単位の設定基準は生産量	2022年度 排出量36t-CO ₂ 2023年度 排出量35t-CO ₂ 2024年度 排出量26t-CO ₂ 基準年に比べて、工場内の稼働率が上がり、ガス・灯油の使用量が増加した。(売上前年比128%) 電氣の使用量では13.5%削減に繋がった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(5)年度	(6)年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	KL	20	18	20			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	36	35	26			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	36	35	26			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	工場屋根への太陽光発電設備の新設の時期を計画	2025年度	計画中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						